

4つの芸術的なビジョン。4つの造形スタイル。1つの魅力的なテーマ…。MB&F M. A. D. Galleryは、大西洋の両側から集まった4人のアーティストによる昆虫に着想を受けた作品を特集した「メカニカル・エントモロジー」コレクションを披露する。

自然史と金属、メカニズムと機械が劇的にフュージョンするこのコレクションは、M. A. D. Galleryが初めて取り扱ったテーマであり、Gaby Wormannによる“MeCre”、Christopher Conteによるブロンズ製昆虫鋳物“Duellona”、Paul Swan Topenによる「時計仕掛け」の蝶、Christopher LockeによるScissor Spidersといったメカニカルな創作物から構成されている。作品の一つ一つは、アーティストたちの豊富な想像力と卓越した芸術的技術の賜物である。

エントモロジーとは昆虫学を意味するが、学校行事としてカビ臭い博物館で鑑賞する、ガラス張りの木製標本箱と丸いベルジャーに入れられ、丁寧に整理され、原産地とラテン名が貼られた昆虫の標本をはじめ、我々の誰もが昆虫のコレクションをいくつか目にはしているはずである。

このM. A. D. Galleryの昆虫をテーマとする展示作品は、幅広い種類の昆虫、厳密に言うと節足動物を使用、または想起している。いくつかは特別な木製またはガラス製ディスプレイや、ガラスジャーに収められており、ラテン名をつけられた作品もある。しかし、M. A. D. Galleryが見せるものは単なる奇妙な生き物のコレクションではなく、その「機械的な」性質がMB&Fの真髄を表している。

この展覧会では、息を飲むような蝶々に胸を躍らせ、美しいカブトムシに衝撃を受け、尾に本物のとげを持つ荘厳なサソリ、蜘蛛嫌いでも思わず目を惹かれる蜘蛛に夢中になる。

#### “MeCre”、Gaby Wormann

Franz Kafkaの著書とH. R. Giger、Pierre Matterといったアーティストの作品から着想を受けたGaby Wormannは、自身の言葉を借りれば、「個々の倫理と複雑な生命システムへの人間の無遠慮な介入というテーマを取り扱う」アーティストである。啞然とさせられる“MeCre”は、Wormannによる“Mechanical Creatures”の略語をタイトルとする作品で、類まれた巧妙さを実証し、Wormannの昆虫の進化に対する未来的思想：新しく、ハイブリッドな生物形態 - より耐久性があり、効率的であり、かつ技術的に最適化されたメカニクスと融合した生命体-を表している。

このドイツ人アーティストは、ギア、プレート、ひげぜんまいやフィラメントといった時計製造やメカニカルエンジニアリングの小さな部品を、成形済みの昆虫の胴体に、オーダーメイドの美しいメカニカルな外骨格として取り込んでいる。

その結果として生まれたのが、薄気味悪いほど本物に見える人工的な昆虫シリーズなのである。普通のタランチュラが魅力的に見えなくても、Wormannによる *Lycosa tarantula* は、機甲化された体と機械的に強化された脚を備え、この蜘蛛を全く新しいエキゾチシズムへレベルアップしている。*Megasoma actaeon* では、メカニカルギアの印象的なレイヤーを携え、翅を広げた機械的なカブトムシは、母なる自然が作り出した以上の三次元性を備えており、*Tropidacris dux* は、エレガントかつ極大サイズのメインスプリングによって強化された触角をもつジャイアント・ブラウン・クリケットである。

このように複雑な作品を創るには、非常に高度な技術、ディテールに払う鋭い注意と、生物への包括的な理解が必要とされる。M. A. D. Gallery は、Wormannによるトリバネチョウ、ダイオウサソリや、世界最大級のカブトムシを含む限定作品 9 点を展示している。“MeCre”の作品一つ一つが、二層のガラス取り付け技術を使用したウェンジの木製フレームに収められているが、これは今回の“MeCre”シリーズの為に、ドイツの職人 Soeren Burmeister が特別に手作りしたものである。

#### 詳細お問い合わせ:

Juliette Duru, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

メール: [jd@mbandf.com](mailto:jd@mbandf.com) 電話: +41 22 508 10 36.

### ブロンズ製昆虫鑄物、Christopher Conte

ニューヨークを拠点にするアーティスト Christopher Conte は、自分の様々なスキルと経験に幅広い素材や構築技術を用いて、自らが“Duellona”と命名した昆虫形のブロンズ製鑄物を含めた素晴らしい作品を創作している。

Conte がデザイン、設計、構築したこれらの作品には、多関節の脚、かぎ状の触角、リベットで留められた外骨格と、ゴシック調モチーフがエングレービングされた半球状のブロンズ製鑄物 2 パーツからなるボディが使用されている。

これらのモチーフの微細なディテールの多くが鑄造のプロセスで形になるものの、これらの作品のフォームの見た目にいっそうの生彩感を与えるため、火器彫刻の熟練職人 Michael Dubber が手作業で彫刻を施した。Conte はメインボディの下に時計のムーブメントを設置し、この機械化された創造物の体内の動作を表した。1 作品の造形にしばしば数ヶ月の期間を要した。

ノルウェーのベルゲン生まれでニューヨーク育ちの Conte は、美術の学士号を取得してから 16 年間人工装具の分野で勤務し、手足の切断手術を受けた人用の義手・義足を製作しつつも、生体力学、生体構造やロボット工学への情熱を反映した作品をひっそりと創っていた。2008 年に Conte は国家資格である義肢装具士としての職を辞して、アーティストとしてのキャリアを開始させる。

人体に関する深い知識を持つ Conte は、スチームパンク風のアンドロイド頭蓋骨、サイボーグ風の腕や、機械の心臓などを製作してきた。今回の“Duellona”では、他のアーティストに真似できない創作スタイルで、動物界の表現にも長けていることを証明した。

M. A. D. Gallery は、3 バージョンの“Duellona”を展示している。各 10 体限定のホワイトブロンズまたはイエローブロンズと、1 体限定のレッドガーネットが添えられた緑青バージョンがある。

### 「時計仕掛け」の蝶、Paul Swan Topen

Paul Swan Topen は、ビンテージの時計とエンジニアリングに対して親近感を持つと同時に、蝶への情熱を抱いていた。このスコットランド生まれのアーティスト兼デザイナーは、この 2 つの情熱を組み合わせ、優美な「時計仕掛け」の蝶の創作に成功した。昆虫とメカニクスという異なる分野の相互作用が魅力を放つ。

Topenは息絶えた蝶を探し、時計メーカーの施盤を自ら使って創作した複雑な真鍮のボディを加えた装飾を施した。Topenはまた、アンティークな時計や懐中時計に由来する部品を組み込んで、メカニカルかつ神話の創造物が今にも飛び立とうとしている感じを形にしてみせた。このメカニズムは機能するように見えるものの、それはアーティストが冷静に作り出した幻想にすぎない。

蝶々と時計とはかけ離れた世界に生存しているように見えるが、この2つの世界は16世紀の最初の振り子時計で「バタフライキー」や「バタフライ脱進機」が使用されるようになってから奇妙につながっているのである。Topenは、昆虫と時計製造の結びつきを、蝶に着想を得た作品を介して強めている。M. A. D. Galleryは、息づいているような2作品を含むTopenの限定作品8点を展示している。作品の一つ一つは、黒檀のフレームまたはベルジャーにセットされている。

### Scissor Spiders、Christopher Locke

アメリカ人のアーティスト兼教師である Christopher Locke は、金属や高級木材の加工技術そしてメカニカルエンジニアリングを用いる。人間と機械、古いものと新しいもの、科学と技術といった分野の境界を曖昧にすることを好み、その結果彼自身が「比喩的工業」と言い表す芸術作品を創り出している。

### 詳細お問い合わせ:

Juliette Duru, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

メール: [jd@mbandf.com](mailto:jd@mbandf.com) 電話: +41 22 508 10 36.

その一例が、アメリカ国土安全保障省 運輸保安庁 (TSA) によってアメリカの空港で没収されたハサミを使用して創作した、精巧な Scissor Spider である。

テキサス州オースティンを拠点とする Locke によると「毎年 TSA は 800 万以上のアイテムを没収しており、それには銃、ナイフ、薬物、泡状整髪剤、プリン、ボトル入りの水やハサミが含まれているんだ。」という。「その結果、数え切れないほどのハサミが毎日アメリカの空港で没収されている。私は、TSA が没収したアイテムを使ってこのグロテスクな作品を製作したんだ。」

Locke は、ハサミの刃を蜘蛛の脚として、ハサミの指穴の部分を蜘蛛のボディとして再利用して、この人目を惹く作品を作り上げた。M. A. D. Gallery は、Locke のハサミを使用して創作された蜘蛛を、「メカニカル・エントモロジー」の一部として展示することを光榮に思う。

詳細お問い合わせ:

Juliette Duru, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

メール: [jd@mbandf.com](mailto:jd@mbandf.com) 電話: +41 22 508 10 36.